

## 令和2年愛知県支部学術講演会並びに総会開催される

愛知県支部では、去る1月26日（日）に、麻布大学獣医学部の介在動物学研究室から菊水健史教授をお迎えして会員30名の参加を得て、令和2年支部学術講演会並びに通常総会が開催されました。

総会に先立ち開催された学術講演会は、菊水健史教授が『人間と動物との関係と効果』と題して、菊水健史先生が長きに亘り取り組まれたヒトとイヌの絆形成と相互の心身の健康に及ぼす効果について、科学的な側面からの裏付けをまじえてご講演頂きました。今回、講演のテーマが『ヒトとイヌとの関係と効果』ということもあり、例年の講演会と比べて小動物開業の会員が多数ご参加されました。特に、絆形成における下垂体ホルモンであるオキシトシンの役割は大変重要であることを確認するとともに、ヒトとイヌは切っても切れない関係であり相互の心身の健康を維持向上させる上でかけがいのない存在であることを強く認識しました。先生は、講演時間の1時間30分、途中休憩時間を取ることもなく、非常に熱心で分かりやすくご講演されました。講演終了後の質疑においても、多くの会員の方から相次ぎご質問があり、また、多くの参加会員から高い評価を受けておりました。

学術講演会に続き行われた通常総会では、事務局から平成31年事業報告及び収支決算報告について及び令和2年事業計画及び収支予算案の2案が上程され、全て可決承認されました。

ここ数年県支部総会への参加者数は低迷しており、本年もほぼ昨年同様でありましたが、本年は、獣医学科以外の学科である動物応用科学科、臨床検査技術学科及び食品生命科学科の方からも数名が参加され、大変喜ばしく思いました。令和2年も、引き続き会員同士の親睦を深め、支部同窓会の活性化に向けて一層の努力をしていきたいと考えています。

(美濃口 直和 平成2年卒)

